

えんがわ通信

「えんがわ」という名前には、人と人とのつながりが生まれ、「縁」が「輪」のようになって広がってほしいという願いが込められています。

発行 ＊ 一般社団法人パーソナルサポートセンター 就労支援事業部

住所 / 仙台市青葉区二日町6-6 シャンポール青葉201

電話 / 022-395-6258

WEB / http://www.personal-support.org/

クッキー販売 学生と交流

農業体験参加者が学祭に参加

「農業体験」に参加する市内の仮設住宅の入居者が栽培、収穫したカボチャを使った手作りのクッキーが完成し、10月13日、宮城大の太白キャンパス（太白区旗立）の学園祭で販売された。売れ行きは好調で、同日中に完売した。

クッキーは、同大食産業学部の教授や学生でつくるボランティアサークル「@GREEN」が、農業体験で収穫したカボチャをハロウィーンに合わせて商品化しようと企画。模擬店の出展準備を進めてきた。



宮城大の学生とともにクッキーを売る農業体験の参加者ら＝13日

の参加者が製作。黄色く熟して甘みを増したカボチャをクッキーの生地練りにこむなどした後、牛乳とハート型、宮城大の頭文字をとった「M・Y・U」の型に入れて、焼き上げた。

は「クッキーが実際に売れる現場を見ることができてうれしい」「学生や地域の方など多くの人と交流を持つことができ、よかった」などと感想を述べた。

また、会場ではPSCの手仕事プロジェクトで被災者が製作している「ころころにこまる」や「えんがわキャンドル」などの商品も販売され、学生や地域住民らが買い求めていた。

初めての出張相談会となったこの日は、市内の仮設住宅などに住む30、60代の男女10人が参加。ハローワーク仙台のナビゲーター2人が、それぞれ1人約30分ずつ面談形式で、話を聞いた。

会場では、訪れた人たちが見守られていた。高年齢者や子育て中の女性など8人がすでに従業員として採用され、76歳の女性も販売にたずさわっている。石巻で被災し同店で働く女性（60）は、「今まで（の仕事で）は、お客さんにお茶を提供するところから徐々に触れ合いの場を提示していきたい」としている。

ハロワが出張相談10人参加

ハローワーク仙台（宮城野区）は10月12日、青葉区二日町の就労支援相談センター「わっくわあく」で出張相談を実施した。

出張相談会は本年度、月2回程度のペースで実施される予定で、11月8日と22日（両日とも木曜日）の午後1時半～4時半に開催する。

相談には事前の予約が必要。連絡先は「わっくわあく」022(395)6323。

「えんがわ」な人々 平井知則（ひらいとものり）



若林区河原町に 仙台店オープン

河原町商店街にあった旧蒲鉾店の店舗、約35平方メートルの一部を改装。全国各地から寄せられた衣料品や食器などの雑貨を販売し、収益は復興支援などに充てられる。

同店には初日から、近くを通りかかった客らが訪れ、従業員と会話を楽しみながら、お目当ての品を買い求めていた。

高年齢者や子育て中の女性など8人がすでに従業員として採用され、76歳の女性も販売にたずさわっている。石巻で被災し同店で働く女性（60）は、「今まで（の仕事で）は、お客さんにお茶を提供するところから徐々に触れ合いの場を提示していきたい」としている。

これまで生活困窮者の支援に携わってきた中で培ってきたノウハウを、何らかの形で役立てることができればと思っています。

明日へつなぐ

一人ひとりの恒久的な住まいの確保や就労、健康をトータルで支援したい

仙台市 復興事業局 生活再建支援室

佐藤 俊宏 室長



生活再建支援室は、本年度、新設されました。昨年度、市では被災された方々の生活支援について、各種団体と連携しながら、様々な事業に取り組んでまいりましたが、震災から1年が過ぎ、生活再建のためのサポートが必要との考えから設置されました。

被災された方々にとつて、恒久的な住まいや安定した収入の確保、そして健康が、生活を再建する上で大切であると考えています。

そこで支援室では、それらをトータルで支援する取り組みを展開していきます。特に、恒久的な住まいの確保については、市は8月に復興公営住宅について、これまでより200戸多い3000戸を供給目標とする方針を打ち出しました。

2月の調査では、就労支援を希望される方も多かったです。就労関係の情報提供に努めるとともに、パーソナルサポートセンターが行っている就労支援相談センター「わっくわあく」や「えんがわ」との連携、雇用問題に取り組むNPO法人「POSSE(ポッセ)」と手を組み、就労支援に

そのための支援室では、被災者の自治体と連携し、仙台市内で説明会を開くなどして、避難元自治体の復興の状況を知ってもらう取り組みも行っています。

仙台市の復興事業では、防災集団移転事業や宅地復旧関連事業等が着々と進み、復興公営住宅の整備方針も示されました。被災された方々が、一日も早く恒久的な住まいを確保できるよう、今後一人ひとりの生活再建を支援していきたくと思っています。

「わっくわあく」の所在地

住所：仙台市青葉区二日町6-6
 シャンポール青葉201
 相談予約：022(395)6323

●市営地下鉄
 勾当台公園駅北1より徒歩3分
 北四番丁駅南1より徒歩5分

●市バス・宮交バス
 県庁・市役所・青葉区役所前
 停留所より徒歩2分

TOPICS(11月)

営業職を知るセミナー

「営業ってどんな事をするの?」という素朴な疑問から始まり、自分を活かした営業スタイルを探ります。2日目は午後には求人企業との交流会も開催いたします!

- 日時: 11月16日(金)・17日(土) 10~17時(午前・午後の選択参加可)
- 場所: AER7階 仙台市産業振興事業団
- 対象: 学生・求職中の方
- 定員: 40名
- 申込締切: 11月12日(月) 必着

就業やキャリア等に関する個別相談

専門の相談員による、職業や進路・キャリア等に関する個別相談を開催します。(就職のあっせんではありません)

- 日時: 11月21日(水) 13~20時(お一人50分)
- 場所: AER6階 情報・産業プラザ内
- 対象: ①学生・求職中の方(年齢不問)、②在職者(30代まで)
- 定員: 28名
- 申込締切: 11月14日(水) 必着

◎申込方法: 郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・学生/求職中/在職中のいずれかを記入し、郵便・FAX・Eメールでお申込みください。締切後に応募者全員に決定通知書をお送りします。

◎お問合せ先: 仙台市産業振興事業団
TEL: 022-724-1212、FAX: 022-715-8205
Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

のびすく仙台

- ◎利用できる人 主に乳幼児とその家族
- ◎住所 仙台市青葉区中央2丁目10番24号(仙台市ガス局ショールーム3階)
- ◎問い合わせ TEL: 022-726-6181 FAX: 022-214-5071

のびすく仙台バザー 申込不要

子ども服(乳幼児)を中心に雑貨やおもちゃ、日用品などほとんどが100円での提供です。

- 日時: 11月8日(木) 10:30~13:30
- 場所: のびすく仙台 こどもひろば
- *持ち帰り用の大きめの袋を持参ください。

グループ相談「ママのストレスケア」11/1~申込開始

日々の生活の中でストレスを抱えることはありませんか? 疲れたところを自分で軽くすることができたら...。簡単な方法を教えていただきます。

- 日時: 11月28日(水) 10:00~11:30
- 講師: 門間 尚子さん(産業カウンセラー)
- 場所: のびすく仙台 こどもひろば
- 定員: 15名(お子さんと一緒可)
- 参加費: 無料

特定非営利活動法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク

ママともサロン junior 受付中

震災後、宮城県に避難してきた小・中学生の母親同士で情報交換しませんか?

- 子どもたちは、プレーリーダーと一緒に遊びましょう!
- 日時: 11月23日(金・祝) 10:00~12:00
- 場所: エル・ソーラ仙台研修室(仙台駅前 エル28階)
- 対象: 福島県から避難してきた小・中学生の母子
- 定員: 15組(大人のみ参加可)
- 参加費: 無料
- ◎申込・お問合せ: 022-714-2088

仙台友の会 2012年度 家事家計講習会

家計のやりくりや衣・食・住の家事などを考える講習会を開催します。家計簿を通して、これからの暮らしを一緒に考えてみませんか?

- 【1】11月16日(金) ◇多賀城市市民活動サポートセンター 10:00~12:00
- 【2】11月19日(月) ◇せんだいメディアテーク、エルソーラ仙台 10:00~11:30
- 【3】11月20日(火) ◇通町コミュニティセンター 10:00~11:30 ◇野村コミュニティセンター 10:00~11:45 ◇仙台友の家、栗原市市民活動支援センター 10:00~12:00
- 【4】11月22日(木) ◇仙台友の家 10:00~12:00 ◇三藤宅(富谷町) 10:00~11:45、13:30~15:15
- 【5】12月1日(土) ◇仙台市市民活動サポートセンター 13:00~14:30
- 持ち物: 筆記用具
- 参加費: 400円(栗原市は350円) ※託児(予約制): 300円
- ◎申込: 仙台友の会 090(6252)8399 [佐藤]

えんがわ通信 求人コーナー

このコーナーでは、就労支援相談センター「わっくわあく」(PSC就労支援事業部)と提携する特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」が、みなさまにさまざまな求人情報をお届けします。

※特定非営利活動法人「ワンファミリー仙台」無料職業紹介事業(許可番号04-ム-300010)

同和興業株式会社 【職種】 病院内の清掃等 【雇用形態】 パートタイム 【年齢】 概ね60歳前まで ※女性歓迎 ※高卒以上 【待遇】 時間給 675~700円 【就業場所】 東北厚生年金病院(宮城野区福室) 【就業時間】 (1)8:00~12:00 (2)13:00~17:00 【加入保険】 雇用・労災 【免許資格】 不問	同和興業株式会社 【職種】 施設警備 【雇用形態】 契約社員 【年齢】 概ね40代まで ※女性活躍中 ※高卒以上 【待遇】 時間給 750円 【就業場所】 アエル(青葉区中央) 【就業時間】 9:00~20:30の間、シフト制(1ヶ月単位) 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生 【免許資格】 不問	株式会社ステラ 【職種】 結婚カウンセラー 【雇用形態】 正社員 【年齢】 40歳以下 ※キャリア形成のため ※短大・専門学校卒以上 【待遇】 月給 14万~24万円 【就業場所】 青葉区中央 【就業時間】 (1)9:00~18:00 (2)13:00~20:00 (3)10:00~17:00 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生 【免許資格】 不問
新日本リネン株式会社 仙台工場 【職種】 リネンサプライ・クリーニング一般 【雇用形態】 パートタイム 【年齢】 概ね50代前半まで 【待遇】 月給 140,800円(時給800円×8h×22日計算) 【就業場所】 宮城野区宮城野 【就業時間】 8:00~17:00 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生 退職金制度あり(社員登用後) 【免許資格】 不問	生活協同組合あいコープみやぎ 【職種】 商品ピッキング・カタログ袋詰等 【雇用形態】 パートタイム 【年齢】 概ね30代から50歳くらいまでの男女 【待遇】 時間給 730円 【就業場所】 宮城野区日の出町 【就業時間】 (1)5:00~13:00 (2)10:00~17:00 【加入保険】 雇用・労災 【免許資格】 不問	株式会社ビルワーク 【職種】 ホテル内の洗浄等 【雇用形態】 パートタイム 【年齢】 不問 【待遇】 時間給 685~875円 【就業場所】 宮城野区榴岡 【就業時間】 (1)11:30~16:00 (2)16:00~22:00 (3)18:00~22:00 【加入保険】 労災 【免許資格】 不問
株式会社ピーエイ 【職種】 コールセンタースタッフ 【雇用形態】 アルバイト 【年齢】 不問 【待遇】 時間給 800円 【就業場所】 青葉区一番町 【就業時間】 9:00~18:00の間で応相談 【加入保険】 各種保険あり 【免許資格】 不問	ミニストップ 仙台泉中央一丁目店 【職種】 レジ・接客・品出し等 【雇用形態】 正社員 【年齢】 59歳以下 【待遇】 時間給 710円 【就業場所】 泉区泉中央 【就業時間】 14:00~22:00の間の6時間程度(応相談) 【加入保険】 雇用・労災 【免許資格】 不問	プリマハム株式会社 東北支店 【職種】 食品製造 【雇用形態】 パートタイム 【年齢】 不問 【待遇】 時間給 750円 【就業場所】 若林区卸町 【就業時間】 7:00~15:30(8:30~16:30 9:00~15:30もあり) 【加入保険】 雇用・労災・健康・厚生・財形 【免許資格】 不問

※求人は10月12日現在のものです。求人募集が終了している場合がございますので、あらかじめご了承ください。

その他にも求人数多数有り。求人に関する問い合わせ、連絡先は
022-395-6364 (ワンファミリー仙台 求人担当)

就職のお悩み相談は、就労支援相談センター「わっくわあく」へ。電話 022-395-6323

「えんがわ」イベント情報

料理教室 参加者募集

月刊誌「婦人之友」の愛読者でつくる「仙台友の会(太白区)」は11月7日に実施する料理教室の参加者を募っている。教室は午前10時から開始。エプロン持参で、参加費は200円(実費)。定員は10人。申し込みは仙台友の会・前嶋090(3124)1181、またはPSC・千葉080(4426)9824まで。

封入手伝い募集

PSC就労支援事業部は11月20日から3日間実施する「復興定期便」(仙台市からのお知らせ)の封入作業の従事者を募集している。

現在、太白区に住んでいる被災者が対象。作業は、午前と午後の1日2回行われ、参加者には、謝礼として1回あたり2000円分の商品券が支払われる。作業は休憩時間を含め、約3時間。締め切りは11月12日。申し込みは、PSC・千葉080(4426)9824まで。

「えんがわ」のつばやき 仕事への思い実現 わっくわあくに

就労支援相談センター「わっくわあく」(青葉区二日町)には次々と「仕事をしたい」という人が訪れる。60代や70代の人も珍しくない。皆さんが笑顔で元氣。しかも仕事に対して真剣だ。改めて人には前向きに進みたいという根本が備わっていると感じる。

精神病理学者のジークムント・フロイトは晩年、「人が意欲的に生きようと思つたためには2つの要因がある」と述べている。一つは家族や友人など愛する人がいること、もう一つは仕事をする事なのだ。

来所した人たちが話をすると、あの震災を境に、長く勤めていた職場を失ったり、会社を取り巻く状況が変わり、辞めざるを得なくなったり、体調を崩したり...。そんな人が少なくない。

加えて、故郷を離れ、仙台市内の仮設住宅に移るなどしたことで、仕事を探すことに戸惑いを感じている人もいます。

そんな中で、4カ月前に開所された「わっくわあく」では、相談者が、仕事に関する提案を受け、会社に応募する意思を固めたり、自ら求職活動に動き出したりしている。

そうした人たちが就職先を決め、喜びの声を寄せられるようになったことが、私たちにとつては、何よりも嬉しい。

何ごとも、挑戦し続けた人が物事を達成し、成功を手に入れることができると思つている。

諦めずに取り組めば、結果はおのずと表れる。

仕事への思いを実現するため、ぜひ、多くの人に足を運んでいただきたい。こちらでも、できる限り就労の可能性が高い提案ができるよう努めたいと考えている。

(E)